

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2000-148138(P2000-148138A)

【公開日】平成12年5月26日(2000.5.26)

【出願番号】特願平10-318546

【国際特許分類第7版】

G 10 H 1/00

G 10 H 1/02

G 10 H 1/043

G 10 H 1/10

G 10 H 7/00

G 10 H 7/02

【F I】

G 10 H 1/00 C

G 10 H 1/02

G 10 H 1/043 A

G 10 H 1/043 B

G 10 H 1/10 A

G 10 H 7/00 5 1 1 Z

G 10 H 7/00 5 2 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月8日(2005.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】入力信号に効果を付加して出力する効果付加手段と、

前記効果付加手段に入力する試験信号を発生する試験信号発生手段と、

前記試験信号発生手段において発生される試験信号の波形を決定する波形情報と該試験信号の発音態様を決定する発音態様情報とを有して構成される試験信号情報を複数組記憶する試験信号情報記憶手段と、

所定の試験信号情報を構成する波形情報と発音態様情報とに従って試験信号を発生するように前記試験信号発生手段を制御する制御手段と

を有する効果装置。

【請求項2】入力信号に効果を付加して出力する効果付加手段と、

前記効果付加手段に入力する試験信号を発生する試験信号発生手段と、

前記効果付加手段において付加される効果を決定する効果情報を複数種類記憶した効果情報記憶手段と、

前記効果情報記憶手段に記憶された複数種類の効果情報に対応して、前記試験信号発生手段において発生される試験信号の波形を決定する波形情報と該試験信号の発音態様を決定する発音態様情報を有して構成される試験信号情報を複数組記憶する試験信号情報記憶手段と、

前記効果情報記憶手段に記憶された複数種類の効果情報を選択することによって、前記効果付加手段において付加される効果を選択する効果選択手段と、

前記効果選択手段によって選択された効果情報に対応した試験信号情報を構成する波形

情報と発音態様情報とに従って試験信号を発生するように前記試験信号発生手段を制御する制御手段と  
を有する効果装置。

【請求項3】 請求項1または2のいずれか1項に記載の効果装置において、  
前記試験信号発生手段は、複数のサンプリング波形データを記憶したサンプリング波形  
データ記憶手段を有し、前記サンプリング波形データ記憶手段に記憶されたサンプリング  
波形データに基づいて試験信号を発生するものであって、

前記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する波形情報は、前記サン  
プリング波形データ記憶手段に記憶されたサンプリング波形データを選択する情報である  
ものである効果装置。

【請求項4】 請求項1または2のいずれか1項に記載の効果装置において、  
前記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する発音態様情報は、前記  
試験信号発生手段において発生される試験信号の発生パターンを指示する情報である  
ものである効果装置。

【請求項5】 請求項3に記載の効果装置において、  
前記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する発音態様情報は、前記  
試験信号発生手段において発生される試験信号の発生パターンを指示する情報であり、  
前記試験信号発生手段は、前記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成  
する波形情報により選択されるサンプリング波形データに基づき、前記試験信号情報記憶  
手段に記憶された試験信号情報を構成する発音態様情報により指示される発生パターンに  
従って試験信号を発生する  
ものである効果装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

即ち、本発明のうち請求項1に記載の発明は、入力信号に効果を付加して出力する効果  
付加手段と、上記効果付加手段に入力する試験信号を発生する試験信号発生手段と、上記  
試験信号発生手段において発生される試験信号の波形を決定する波形情報と該試験信号の  
発音態様を決定する発音態様情報を有して構成される試験信号情報を複数組記憶する試  
験信号情報記憶手段と、所定の試験信号情報を構成する波形情報と発音態様情報とに従つ  
て試験信号を発生するように上記試験信号発生手段を制御する制御手段とを有するよう  
にしたものである。

従って、本発明のうちの請求項1に記載の発明によれば、試験信号を発生する際には、  
試験信号情報を構成する波形情報と発音態様情報を従って発生されることになる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明のうち請求項2に記載の発明は、入力信号に効果を付加して出力する効果  
付加手段と、上記効果付加手段に入力する試験信号を発生する試験信号発生手段と、上記  
効果付加手段において付加される効果を決定する効果情報を複数種類記憶した効果情報記  
憶手段と、上記効果情報を記憶された複数種類の効果情報に対応して、上記試験  
信号発生手段において発生される試験信号の波形を決定する波形情報と該試験信号の発音  
態様を決定する発音態様情報を有して構成される試験信号情報を複数組記憶する試験信  
号情報記憶手段と、上記効果情報を記憶手段に記憶された複数種類の効果情報を選択するこ

とによって、上記効果付加手段において付加される効果を選択する効果選択手段と、上記効果選択手段によって選択された効果情報に対応した試験信号情報を構成する波形情報と発音態様情報とに従って試験信号を発生するように上記試験信号発生手段を制御する制御手段とを有するようにしたものである。

従って、本発明のうちの請求項2に記載の発明によれば、試験信号を発生する際には、選択された効果情報に対応した試験信号情報を構成する波形情報と発音態様情報とに従って発生されることになる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明のうち請求項3に記載の発明は、本発明のうち請求項1または2のいずれか1項に記載の発明において、上記試験信号発生手段は、複数のサンプリング波形データを記憶したサンプリング波形データ記憶手段を有し、上記サンプリング波形データ記憶手段に記憶されたサンプリング波形データに基づいて試験信号を発生するものであって、上記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する波形情報は、上記サンプリング波形データ記憶手段に記憶されたサンプリング波形データを選択する情報であるようにしたものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明のうち請求項4に記載の発明は、本発明のうち請求項1または2のいずれか1項に記載の発明において、上記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する発音態様情報は、上記試験信号発生手段において発生される試験信号の発生パターンを指示する情報であるようにしたものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明のうち請求項5に記載の発明は、本発明のうち請求項3に記載の発明において、上記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する発音態様情報は、上記試験信号発生手段において発生される試験信号の発生パターンを指示する情報であり、上記試験信号発生手段は、上記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する波形情報により選択されるサンプリング波形データに基づき、上記試験信号情報記憶手段に記憶された試験信号情報を構成する発音態様情報により指示される発生パターンに従って試験信号を発生するようにしたものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】